

関連科目，教科書および補助教材	
関連科目	国語Ⅰ 国語Ⅱ
教科書	「精選 現代文B」(大修館書店)
補助教材等	「ステップアップ高校漢字問題集」(東京書籍)「カラー版新国語便覧」(第一学習社)
学習上の留意点	
<p>前期は教科書中心の授業で基本的な国語力を身につける。 後期はその国語力を使って、ディベートで幅広い情報・知識を応用していく。前期のうちから社会で起きている事柄を注視しておくことが望まれる。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>国語力は、これから先を生きて行く上で、重要な武器となる。そのためにも、自ら意欲的に取り組んでもらいたい。</p>	

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス 小説(1) ①	自己紹介をする。国語の授業の進め方を理解する。安部公房「赤い繭」を読む。	(復習) シラバスを再読し、授業の概要を理解する。
2	小説(1) ②	登場人物の行動・心理・性格を読み取り、作者のものの見方・感じ方を理解する。	(復習) ノートを見て授業内容を理解しておく。
3	小説(1) ③	小説(1)の最後にブック・トークをする。	
4	評論(1) ①	山崎正和『心に「海」を持って』を読む。表現上の特色に着目しながら、構成や展開の仕方を理解する。	(予習) 本文を読み、理解できないところにマークする。 (復習) 予習でマークしたところを理解する。
5	評論(1) ②	文章を要約する力を身につけ、筆者の考え方を正確に読み取る。	
6	評論(1) ③		
7	短歌 ①	短歌を読解し、正確に鑑賞できる。	(予習) あらかじめ各々の短歌の解釈を調べておく。
8	短歌 ②		
9	前期中間試験		
10	答案返却・解説 評論(2) ①	試験解説により、一層の理解を深める。野矢茂樹「猫は後悔するか」を読む。論理的な文章を読んで、その展開や要旨をとらえる。	(予習) 本文を読み、理解できないところにマークする。 (復習) 予習でマークしたところを理解する。
11	評論(2) ②	哲学的な文章を通して、現代社会に対する多様な視点を養う。抽象度の高い語句について意味や用法を的確に理解し、自らの語彙として蓄積する。	
12	評論(2) ③		
13	評論(2) ④		
14	表現(1) ①	意見文の書き方を習得し、実際に文章を作成することができる。	(復習) テーマは自由で良いので、意見文を作成しておく。
	前期末試験		
15	答案返却・解説 表現(1) ②	試験解説により、文章の一層の理解を深める。読書感想文の書き方を理解する。	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	ディベートの方法	ディベートの方法を理解する。	<p>(予習) 与えられた論題について、資料を収集し選択して主張をまとめておく。制限時間内で主張できるように事前に練習しておく。</p> <p>(復習) 国語の常識問題に関しては、その日のうちに繰り返し学習して定着させる。</p>
17	ディベートの実践 ①	<p>一巡目のディベートを実践して、情報の集め方や、発言の仕方を理解する。 国語の常識問題にも取り組む。</p>	
18	ディベートの実践 ②		
19	ディベートの実践 ③		
20	ディベートの実践 ④		
21	ディベートの実践 ⑤		
22	ディベートの実践 ⑥	二巡目開始。(一巡目とはメンバーを交代する。)	
23	後期中間試験		
24	答案返却・解説 ディベートの実践 ⑦	<p>試験解説により、立論部分(意見文)の書き方を再確認する。 二巡目の続き。</p>	<p>(予習) 与えられた論題について、資料を収集し選択して主張をまとめておく。制限時間内で主張できるように事前に練習しておく。</p> <p>(復習) 国語の常識問題に関しては、その日のうちに繰り返し学習して定着させる。</p>
25	ディベートの実践 ⑧		
26	ディベートの実践 ⑨		
27	ディベートの実践 ⑩		
28	ディベートの実践 ⑪	<p>三巡目開始。(二巡目とはメンバーを交代する。)</p>	
29	ディベートの実践 ⑫		
	学年末試験		
30	答案返却・解説 1年のまとめと授業改善アンケートの実施 ディベート特別編	ディベート特別編は、クラスのベストディベーターで構成する。	
総 授 業 時 間 数			60時間